

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	博士課程教育リーディングプログラム		担当部局庁	高等教育局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成31年度		担当課室	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 里見 朋香			
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	グローバル化社会の大学院教育(平成23年1月31日中央教育審議会答申)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	○明確な人材育成像を設定し、博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築。 ○国内外の多様なセクターから第一級の教員・学生を結集した密接な指導体制による独創的な教育研究を実施。 ○世界に先駆け解決すべき人類社会の課題に基づき、産・学・官がプログラムの企画段階から参画。国際性、実践性を備えた研究訓練を行う教育プログラムを実施。 【補助率:定額補助】								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	3,903	11,608	17,772	20,852		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	△ 357	248	108			
		計	-	3,546	11,856	17,880	20,852		
		執行額	-	3,384	11,077				
	執行率(%)	-	95.4%	93.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (31年度)
	博士課程教育リーディングプログラム修了者の就職率			成果実績	%	-	-	-	100
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	プログラムの採択件数			活動実績 (当初見込み)	件	-	20 (-)	44 (20 以上)	- (44 以上)
	プログラム対象学生の企業等へのインターンシップ派遣者数			活動実績 (当初見込み)	人	-	0 (-)	77 (0 以上)	- (77 以上)
	プログラム対象学生の国際機関への派遣者数			活動実績 (当初見込み)	人	-	1 (-)	18 (1 以上)	- (18 以上)
	プログラムに参画する企業数			活動実績 (当初見込み)	件	-	181 (-)	372 (181 以上)	- (372 以上)
	採択プログラムのうち、Qualifying Exam(博士論文作成に必要な基礎能力の審査)の導入プログラム数			活動実績 (当初見込み)	件	-	3 (-)	10 (3 以上)	- (10 以上)
単位当たりコスト	250,594(千円/件)			算出根拠	単位当たりコスト =平成24年度執行額(11,026,145千円)/採択件数(44件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	リーディング大学院構築事業費	17,710百万円	20,790百万円	平成25年度採択プログラムの平年度化(半年分から1年分)に伴う予算の増額。					
	審査等経費	60百万円	60百万円						
	研究拠点形成費等補助金事務費	1.5百万円	1.5百万円						
計	17,772百万円	20,852百万円							

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、「グローバル化社会の大学院教育（平成23年1月中央教育審議会答申）」を踏まえた、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成するための大学院教育の抜本的改革を支援するものであり、国が実施すべき優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・本事業は、公募した上で、有識者からなる委員会による公平な審査を経て選定しており、その妥当性や競争性を確保している。 ・補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・国公立大学を通じた競争的環境の下、明確な改革構想に基づく学位プログラムの構築・卓越性等を有するプログラムを選定・支援しており効果的な事業実施を行っている。 ・当該事業は、定量的な目標値を設定した上で実施しており、中間評価等を通じて当該目標値に対する達成度の把握を行い、着実な向上に向けて実施している。 ・本事業における成果等のHPへの掲載等を通じて活用の促進を図っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	・本事業は、「グローバル化社会の大学院教育（平成23年1月中央教育審議会答申）」を踏まえ、リーディング大学院の形成を図るべく平成23年度より実施しており、プログラムの着実な実施に向け、採択されたプログラムに対し、毎年進捗状況等のフォローアップを行っている。 ・補助金を交付するに際して、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するとともに、経費の執行に関しては、実績報告書等において、支出先・使途を把握することにより、各大学において補助目的に沿った適正な事業実施がなされているか確認している。 ・限られた予算内でより効果的に拠点への補助を行うため、今後は第三者委員会による中間評価を実施し、評価結果を踏まえたメリハリある補助を行うことを予定している。				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	1. 事業評価の観点：本事業は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、博士課程前期・後期一貫した学位プログラムの構築、独創的な教育研究の実施、国際性、実践性を備えた研究訓練を行う教育プログラムの実施を行う事業であり、計画的な予算執行の実施状況の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、平成24年度当初予算で既に予算の縮減を図ったところであるが、引き続き、計画に基づいた適切な予算執行に努めるべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	・採択されたプログラムは、毎年進捗状況等のフォローアップを実施するとともに、平成26年度以降第三者委員会における中間評価を実施し、その評価結果を補助金の配分に反映しメリハリある補助を行う。				
備考					
○事業URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/index.htm					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	-	平成23年	0022	平成24年 0159

文部科学省
11,077百万円

職員旅費 0.3百万円
庁費 1百万円 } を含む

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援。

【公募・補助】

A. 大学(24大学44件)
11,026百万円

大学において、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を推進。

【公募・補助】

B. (独)日本学術振興会
50百万円

博士課程教育リーディングプログラムの審査・評価等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.東京大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	印刷製本費、会議費、通信運搬費等	585			
	物品費	物理特性評価装置等	550			
	人件費・謝金	特任教員、事務補佐員、講演謝金等	384			
	旅費	国内旅費、海外旅費、外国人招聘旅費等	167			
	計		1,686	計		0
	B.(独)日本学術振興会			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費・謝金	委員手当、事務担当職員、派遣職員	31			
	旅費	委員会出席旅費等	13			
	印刷製本費	審査等に係る印刷製本費	3			
	会場費	審査等に係る会場借料	2			
	その他	通信運搬費等	1			
	計		50	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	「フォトンサイエンス・リーディング大学院」外5件のプログラムを実施	1,686	－	－
2	大阪大学	「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」外4件のプログラムを実施	1,245	－	－
3	京都大学	「京都大学大学院思修館」外3件のプログラムを実施	1,224	－	－
4	東京工業大学	「情報生命博士教育院」外3件のプログラムを実施	1,222	－	－
5	名古屋大学	「グリーン自然科学国際教育研究プログラム」外3件のプログラムを実施	1,064	－	－
6	慶應義塾大学	「超成熟社会発展のサイエンス」外1件のプログラムを実施	781	－	－
7	広島大学	「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」のプログラムを実施	376	－	－
8	筑波大学	「ヒューマンバイオロジー学位プログラム」のプログラムを実施	304	－	－
9	九州大学	「グリーンアジア国際戦略プログラム」外1件のプログラムを実施	291	－	－
10	兵庫県立大学	「フォトンサイエンスが拓く次世代ビコバイオロジー」外1件のプログラムを実施	251	－	－

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	審査・評価業務を実施	50	－	－